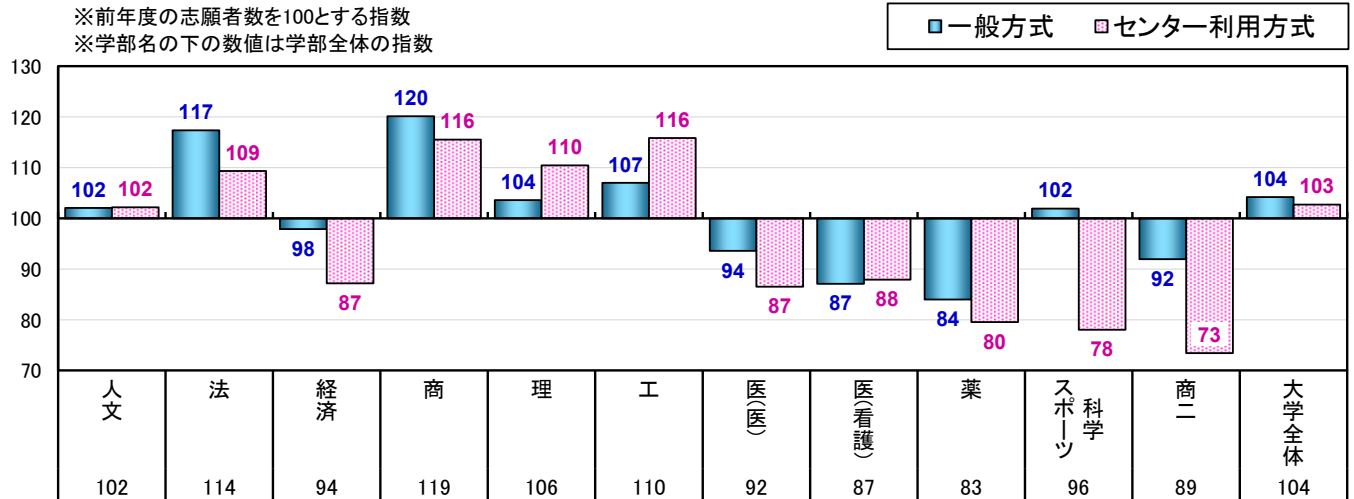


2020年度入試状況分析【私立大】

福岡大：地元志向の高まりで2年連続増加

一般：+1,376人 センター：+469人



入試変更点 募集人員：医(医)〈系統別〉…70人→60人
配点：医(医)〈系統別〉…面+論+調<計50>→面<50>、論・調は点数化廃止
〈セ・I期〉…面+調<計50>→面<50>、調は点数化廃止

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、1,845人(104)のやや増加で2年連続増加。地元志向の高まりが影響。学部別では、商(119)の大幅増加、薬(83)の大幅減少が目立った。

＜一般方式＞

- 人文(102)は、微増だが5年連続増加。学科別では、(日本語日本文)(116)、(歴史)(115)が大幅増加。一方で、(フランス語)(73)は大幅減少。
- 法(117)は、2年連続減少の反動で大幅増加。2学科とも増加し、(経営法)(137)は2年連続減少の反動で大幅増加。(法律)(109)は2年連続増加。
- 商(120)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。3学科1プログラムが全て増加。(貿易)(129)、(商)(120)はいずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 理(104)は、やや増加で3年連続増加。学科・インスティテュート別では、(ナノサイエンス/物理科学)(142)が3年連続大幅増加し、(物理科学)(118)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(社会数理・情報インスティテュート)(82)は大幅減少で、3年ぶりに減少。
- 工(107)は、やや増加で2年連続増加。学科別では、(電子情報工)(98)は微減だが、他の5学科は増加。特に(電気工)(130)は大幅増加で、3年ぶりに増加。
- 医(医)(94)は、やや減少で2年ぶりの減少だが、募集人員減少で志願倍率は41.7倍→45.5倍とアップ。
- 医(看護)(87)は、系統への人気低下で2年連続減少。
- 薬(84)は、系統への人気低下で大幅減少し、7年連続減少。

＜センター利用方式＞

- 人文(102)は、微増だが5年連続増加。学科別では、(日本語日本文)(123)、(文化)(116)が大幅増加。一方で、(フランス語)(69)、(東アジア地域言語)(83)は大幅減少。
- 法(109)は、2年連続増加。2学科とも増加し、特に(経営法)(126)は大幅増加。(法律)(104)はやや増加で2年連続増加。
- 経済(87)は、前年度大幅増加の反動で減少。2学科とも減少し、(経済)(86)は5年ぶりに減少。(産業経済)(92)は2年ぶりに減少。
- 商(116)は、大幅増加で3年連続増加。3学科全てが増加し、特に(貿易)(144)は大幅増加で2年ぶりに増加。
- 理(110)は、3年連続増加。学科・インスティテュート別では、(ナノサイエンス/物理科学)(184)が3年連続大幅増加、(物理科学)(123)も大幅増加で2年ぶりに増加。
- 工(116)は、大幅増加で4年連続増加。6学科全てが増加し、特に(電気工)(138)、(化学システム工)(121)、(機械工)(119)が大幅増加。
- 医(医)(87)は、3年連続増加の反動で減少。
- 医(看護)(88)は、系統への人気低下で2年ぶりに減少。
- 薬(80)は、系統への人気低下で大幅減少し、2年ぶりに減少。
- スポーツ科学(78)は、大幅減少で4年連続減少。2学科とも減少し、特に(スポーツ科学)(68)は大幅減少で4年連続減少。